楽器　〈タルカ〉

A0212
クスコ／ペルー

アンデスの玉手箱ーペルー南高地の祭りと生活

参照資料

図録『アンデス文明』p.175

図録『ラテンアメリカの音楽と楽器』p.80

「季刊民族学」ファイル～アンデス楽器の旅

TARKA

一本の木をくりぬき、そこに６つの指穴をあけた笛で、音がだしやすい。長さの異なるタルカがあり、いずれも、太く、力強い音がでる。これらを組み合わせて、ふつう数人から十数人の編成で太鼓を伴奏に演奏する。

關先生からのひとこと

タルカは、ボリビア高地の農村で使われる楽器です。９～10 月頃、農作業のシーズンに入る直前に開かれる祭りで演奏されることが多いようです。長さや太さの違うものを、大勢で吹きます。演奏するのは、男性だけです。学校で教えることもありますが、ふつう、村の人々から習います。